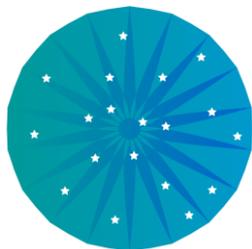


「甦り(Reborn)の医療」とホリスティック医学

ホリスティック医学の定義の一つに、「病の深い意味に気づき、自己実現をめざす」というものがあります。病気にな



ることによって気づきが得られ、「本来の自分」を取り戻し、甦ることができる」という意味です。

がん体験をもつ船戸医師は、それを「甦り(Reborn)の医療」と呼んでいます。がん治療、新型コロナ、在宅医療などの視点から、ホリスティック医学を追究します。

◎この講座の概要◎

★第1回:

「がんからのメッセージ～本来の自分に甦る」

★第2回:

「コロナからのメッセージ～本来の社会に甦る」

★第3回:

「在宅医療からのメッセージ～本来の魂に甦る」

★第4回:

「甦りを目指すホリスティック医療～私の実践」

<申し込み方法>

「甦りの医療」申込として、下記の項目をメールまたはファックスでお送りいただき、お振込下さい。振込をもって正式受付となります。

- ① 講座名②日程③氏名(ふりがな)④住所
- ⑤連絡先(当日つながる電話番号)⑥メールアドレス⑦「zoom 受講」か「録画配信受講」をお知らせ下さい。

★「zoom 受講」・「録画配信受講」対応講座★

■受講料: 4回 17,600円 (税込)

■講師: 船戸崇史 / 愛知医科大学医学部卒業。消化器腫瘍外科を専門。しかし、「がんには自分のメスでは勝てない」と、根本的な治療を目指して1994年岐阜県養老町に船戸クリニックを開業。自身が腎臓がんを発症する。2017年、日本初の「がん予防滞在型リトリート リボン洞戸」を開設。

■日程: 各回 19:15~21:15

5/19(水)、6/16(水)、7/21(水)、8/18(水)

★第1回「がんからのメッセージ ~本来の自分に甦る」

がんには言い分があります。がんは「死ぬ」とは言っていません。がんは「変わりなさい」とだけ言っているのです。がんを通し、本来の自分の「志」に気づき、生き直せば(甦れば)がんは自然に消えて行くのです。

★第2回「コロナからのメッセージ ~本来の社会に甦る」

新型コロナには言い分があります。今の社会の在り方、つまり3密(密閉・密集・密接)への警鐘です。人と人の間の在り方を問うています。密教でいう身口意の三業を整える事(三密)が重要なのです。3密から三密の社会へ。

★第3回「在宅医療からのメッセージ ~本来の魂に甦る」

在宅医療からの7つのメッセージとは魂の甦りだった。①生き様は死に様②自分の命は自分の命にあらず③自分にしか出来なことがある④覚悟を持って生きる⑤人生最期の言葉はある⑥人はただあるだけでも「命の輝き」を醸し出す⑦病に意味はある

★第4回「甦りを目指すホリスティック医療 ~私の実践」

全ては私のがん体験から始まりました。1人称の出来事は説得力を持っています。身体は治す力を持っています。それを邪魔した生き方があったのです。最終回は、がん体験からリボン洞戸建設に至るまでの私の実践をご紹介します。

■ 主催・お問い合わせ: (有)ホリスティックヘルス情報室

Eメール: hic@a7.rimnet.ne.jp FAX: 03-5572-8219

URL: <http://holistichealthinfo.web.fc2.com/index.html>

◎ お振込先

三菱UFJ銀行虎ノ門中央支店 普通5832950 (有)ホリスティックヘルス情報室

